

# 第208回 大阪小児科学会

## ◇◇ プログラム ◇◇

### ■ Aセッション .....(13 : 30~14 : 06)

座長 辻 章志 (関西医科大学 小児科)

1. 遷延性黄疸を契機に中枢性甲状腺機能低下症と診断された*IGSF1*異常症の1例  
大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学  
大澤純子, 西垣五月, 濱崎考史, 藤田敬之助, 新宅治夫
2. 尿混濁にて発見されたHPRT-related hyperuricemiaの1例  
大阪市立総合医療センター 小児総合診療科<sup>1)</sup>, 淀川キリスト教病院 小児科<sup>2)</sup>,  
東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター<sup>3)</sup>  
丸山和歌子<sup>1)</sup>, 上田博章<sup>1)</sup>, 久富隆太郎<sup>1)</sup>, 南園京子<sup>2)</sup>, 関田千恵子<sup>3)</sup>, 谷口敦夫<sup>3)</sup>,  
藤丸季可<sup>1)</sup>
3. 高用量のPBとLEV投与が有効であった頻回難治部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS)  
の1例  
大阪医科大学 小児科  
中村恵理子, 島川修一, 森 篤志, 畑中マリ, 利川寛実, 福井美保, 玉井 浩

### ■ Bセッション .....(14 : 06~14 : 42)

座長 芥川 宏 (市立岸和田市民病院 小児科)

4. Swyer-James症候群と診断した7歳女児例  
松下記念病院 小児科<sup>1)</sup>, 同 放射線科<sup>2)</sup>  
森 潤<sup>1)</sup>, 金田大介<sup>1)</sup>, 藤木 敦<sup>1)</sup>, 磯田賢一<sup>1)</sup>, 小谷知也<sup>2)</sup>, 牛島 陽<sup>2)</sup>
5. 当院で経験した乳様突起炎の3症例  
堺市立総合医療センター 小児科  
谷 里衣, 星野美麗, 川西邦洋, 辻田麻友子, 高柳恭子, 入山 晶, 今北優子,  
岡村隆行
6. マイコプラズマ感染によるStevens-Johnson症候群の一例  
高槻病院 小児科  
上村義季, 橋村裕也, 甲斐智彦, 山本和宏, 石河慎也, 松田卓也, 大西 聡,  
起塚 庸, 林 振作, 内山敬達, 南 宏尚

### ■ 総 会 .....(14 : 42~15 : 00)

議長 新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学)

1. 選挙報告

## 教育講演

(15:00~16:00)

座長 金子一成 (関西医科大学 小児科学講座)

### 「食物アレルギー —治療への挑戦—」

関西医科大学 小児科学講座, 関西医科大学枚方病院 小児アレルギー科  
谷内昇一郎

## ■Cセッション (16:00~16:36)

座長 河津由紀子 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科)

### 7. 遅発性先天性Bochdalek孔ヘルニアの2例

市立ひらかた病院 小児科<sup>1)</sup>, 愛仁会 高槻病院 小児外科<sup>2)</sup>,  
関西医科大学附属枚方病院 小児外科<sup>3)</sup>

荻野元子<sup>1)</sup>, 田中智子<sup>1)</sup>, 山崎哲司<sup>1)</sup>, 進藤圭介<sup>1)</sup>, 大場千鶴<sup>1)</sup>, 村田真野<sup>1)</sup>,  
井上敬介<sup>1)</sup>, 柏木 充<sup>1)</sup>, 岡空圭輔<sup>1)</sup>, 上村義季<sup>2)</sup>, 富岡雄一郎<sup>2)</sup>, 津川二郎<sup>2)</sup>,  
西島栄治<sup>2)</sup>, 白井 剛<sup>3)</sup>, 高橋良彰<sup>3)</sup>, 中村有佑<sup>3)</sup>, 濱田吉則<sup>3)</sup>

### 8. 日齢6に急性硬膜下血腫を認めた血友病Aの一例

高槻病院 小児科<sup>1)</sup>, 同 小児集中治療科<sup>2)</sup>, 同 小児脳神経外科<sup>3)</sup>

甲斐智彦<sup>1)</sup>, 起塚 庸<sup>1)2)</sup>, 郷間 環<sup>1)</sup>, 大西 聡<sup>1)2)</sup>, 橋村裕也<sup>1)</sup>, 林 振作<sup>1)</sup>,  
内山敬達<sup>1)</sup>, 土居ゆみ<sup>2)</sup>, 阪本大輔<sup>3)</sup>, 山中 巧<sup>3)</sup>, 原田敦子<sup>3)</sup>, 山崎麻美<sup>3)</sup>,  
南 宏尚<sup>1)</sup>

### 9. 流出路の異常により胎児診断することができた修正大血管転位症の1例

大阪医科大学 小児科学教室 循環器グループ<sup>1)</sup>, 同 産婦人科<sup>2)</sup>,  
高槻病院 産婦人科<sup>3)</sup>

小田中豊<sup>1)</sup>, 片山博視<sup>1)</sup>, 岸 勘太<sup>1)</sup>, 尾崎智康<sup>1)</sup>, 玉井 浩<sup>1)</sup>, 藤田大輔<sup>2)</sup>,  
中後 聡<sup>3)</sup>, 小辻文和<sup>3)</sup>

## ■Dセッション (16:36~17:24)

座長 山本征也 (阪南中央病院 小児科)

### 10. 低線量放射線障害の検討1

甲状腺がん異常多発 —もはや多発は揺るがない事実である

たかまつこどもクリニック<sup>1)</sup>, 医療問題研究会<sup>2)</sup>, 入江診療所<sup>3)</sup>, はやし小児科<sup>4)</sup>,  
大阪赤十字病院救命救急センター<sup>5)</sup>

高松 勇<sup>1)</sup>, 伊集院真知子<sup>2)</sup>, 入江紀夫<sup>3)</sup>, 林 敬次<sup>4)</sup>, 山本英彦<sup>5)</sup>

### 11. 低線量放射線障害の検討2

繰り返すスクリーニング検査による甲状腺がん高発見率

はやし小児科<sup>1)</sup>, 医療問題研究会<sup>2)</sup>, 入江診療所<sup>3)</sup>, たかまつこどもクリニック<sup>4)</sup>,  
大阪赤十字病院救命救急センター<sup>5)</sup>

林 敬次<sup>1)</sup>, 伊集院真知子<sup>2)</sup>, 入江紀夫<sup>3)</sup>, 高松 勇<sup>4)</sup>, 山本英彦<sup>5)</sup>

## 12. 低線量放射線障害の検討 3

福島でも事故後に外表性形態異常が増加

入江診療所<sup>1)</sup>、医療問題研究会<sup>2)</sup>、たかまつこどもクリニック<sup>3)</sup>、はやし小児科<sup>4)</sup>、  
大阪赤十字病院救命救急センター<sup>5)</sup>

入江紀夫<sup>1)</sup>、伊集院真知子<sup>2)</sup>、高松 勇<sup>3)</sup>、林 敬次<sup>4)</sup>、山本英彦<sup>5)</sup>

## 13. 低線量放射線障害の検討 4

低線量被ばくの危険性 —文献的検討

医療問題研究会<sup>1)</sup>、たかまつこどもクリニック<sup>2)</sup>、入江診療所<sup>3)</sup>、はやし小児科<sup>4)</sup>、  
大阪赤十字病院救命救急センター<sup>5)</sup>

伊集院真知子<sup>1)</sup>、高松 勇<sup>2)</sup>、入江紀夫<sup>3)</sup>、林 敬次<sup>4)</sup>、山本英彦<sup>5)</sup>

- A～Dセッションは講演各6分、討論各6分とし、教育講演は講演50分、討論10分とします。

## 第3回「低線量被ばくを考えるセミナー」

日 時：12月5日(土)

大阪小児科学会（大阪市大医学部付属病院5階講堂）終了後開催。学会終了後、  
同じ会場で引き続き開催いたします。講演と質疑で約2時間を予定。

～放射線影響の真実に迫る～

「放射線の継世代影響とは —フクシマと放射能による次世代への影響」(仮題)

講 師：野 村 大 成 先生 大阪大学名誉教授（専門：放射線基礎医学）

現在は医薬基盤研究所・野村プロジェクト・プロジェクトリーダー

講師紹介：野村先生は、放射線による次世代マウスへの発ガンと先天障害の発生の実証で世界的な研究実績を上げられています。これを人間に当てはめると、一度、少量の放射線を浴びた後、さらに放射性物質や発ガン物質を含む食べ物も食べると、ガンにかかりやすいということを指摘されています。また、チェルノブイリ原発事故後の生態系への汚染と遺伝的影響調査に携わっておられます。ロシアでは小児に関しては、現在、孫も含めて10万人余りの健康調査が実施されており、住民の子どもの病気が確認されています。さまざまな研究事実から、現在のフクシマをどう見るかを語っていただきます。多くの人々にご参加をいただきながら、小児医療を担うものとして問題を深め、考えていきたいと思っています。ご参加いただけることを心より願っています。

主催：大阪小児科学会地域医療委員会